

筑波大学大学院 博士前期課程デザイン学学位プログラム建築デザイン領域

大学院における実務経験の手引き

1. 必要単位数

一級建築士の免許登録には、建築士法が定める建築物の設計又は工事監理に関する 2 年の実務経験が必要です。

デザイン学学位プログラムでは、この実務経験に該当するとの認定（国交省告示第 1033 号）を受けたインターンシップ及びインターンシップ関連科目を開設しています（別表）。これらの科目を 15 単位以上修得すると 1 年の実務経験を、30 単位以上修得すると 2 年の実務経験を得ることができます。ただし、インターンシップを 4 単位以上、インターンシップ関連科目の講義を 8 単位以下、演習等を 8 単位以下としなければなりません。

1 年又は 2 年の実務経験に必要な単位数

必要単位数		インターン シップの単位数	インターンシップ関連科目 の単位数	
実務経験 2 年	実務経験 1 年		演習・実験・実習	講 義
30 単位以上	15 単位以上	4 単位以上	8 単位以下	8 単位以下

2. 「建築デザインインターンシップ」

2-1. 授業概要

4 単位以上必要なインターンシップとして、デザイン学学位プログラムでは「建築デザインインターンシップ」（4 単位）を複数開設しています。

これは、建築設計業務を行う学外の建築士事務所等に出向き、建築士の指導を受けて 120 時間の設計又は工事監理に関する実務訓練の実習を行うことで、意匠に係る建築設計の実践的能力を培うことを目的とした科目です。

2-2. 履修条件

履修生は、デザイン学学位プログラム建築デザイン領域に所属する学生であり、かつ、学生教育研究災害障害保険（<https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/gakkensai/>）（または、それと同等の保険）の加入者に限ります。

2-3. 単位認定要件

「建築デザインインターンシップ」の 4 単位は、以下の全ての要件を満たした場合に認定されます。

【インターンシップ先の要件】

- ・インターンシップ先が一級建築士事務所または建築物の設計・工事監理の実務実績を有する一級建築士が在籍する事務所であること。
- ・インターンシップ先の指導担当者が建築物の設計・工事監理の実務実績を有する一級建築士であること。

【実習の内容・時間の要件】

- ・実習内容が建築物の設計又は工事監理の実務訓練であること。
- ・実習時間（ガイダンス、休憩等の実務訓練以外の時間を含まない）が 120 時間（およそ 1 か月程度）以上であること。
- ・「建築デザインインターンシップ」を複数履修する場合は、主な実習内容が重複せず、履修を重ねることでステップアップを踏む実習内容になっていること。

【提出物の要件】

- ・インターンシップ開始の 10 日前までに「インターンシップ計画書」（様式 1）を指導教員とインターンシップ先の指導担当者の承認を得た上で大学院教務に提出すること。
- ・インターンシップ終了後速やかに「インターンシップ報告書」（様式 2）を指導教員とインターンシップ先の指導担当者の承認を得た上で大学院教務に提出すること。

2-4. 注意事項

インターンシップを行う際は、課程の学修の妨げにならないよう配慮が必要です。特に、2 年の実務経験を得るためには「建築デザインインターンシップ」を 14 単位以上履修する必要があり、博士前期課程を 2 年で修了するための学修時間を確保できなくなる恐れがあります。

「インターンシップ計画書」及び「インターンシップ報告書」には事実を正確に記載してください。虚偽の記載が発覚した場合は、懲戒処分の対象となる可能性があります。

(別表)

インターンシップ及びインターンシップ関連科目
(2020 年度以降入学者向け)

区分		科目名	単位数
インターンシップ		建築デザインインターンシップ1	4単位
		建築デザインインターンシップ2	4単位
		建築デザインインターンシップ3	4単位
		建築デザインインターンシップ4	4単位
インターンシップ関連科目	演習・実験・実習	プロジェクト演習A-Ⅱ	3単位
		プロジェクト演習B-Ⅱ	3単位
		プロジェクト演習C-Ⅱ	3単位
		プロジェクト演習D-Ⅱ	3単位
	講義	建築計画論特講	2単位
		建築意匠論特講	2単位
		建築構法論特講	2単位
		建築・都市フィールドデザイン論特講	2単位
		プレイスメイキング論	2単位